

一般財団法人
全国大学実務教育協会

会報

CONTENTS

	Page
代表理事・会長挨拶	1
新資格の開設	3
教育者養成講座・研修事業	4
協会からのお知らせ	6
会員校等代表者交流会	7
会員校紹介 鹿児島女子短期大学	9
実務教育優秀教員被表彰者寄稿	11
新役員・評議員のご紹介	13

新資格の創設に向けて

Jan
2023

第24号



一般財団法人 全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education

01 } 新資格の創設に向けて



一般財団法人 全国大学実務教育協会
代表理事・会長

森 征一

》ご挨拶

会報第24号の発刊にあたり、会員校の皆様にご挨拶申し上げます。

森協道子前会長のご退任を受けて、昨年度の2021年5月、新型コロナ禍という状況の下、会長に就任して1年9ヵ月が過ぎました。昨年9月末以降、政府は新型コロナ対策について「ウィズコロナ」に政策転換していますが、協会の事業活動を展開する上では、依然として厳しい環境が続いています。

会長としての私に課せられた務めは、前会長の下、2019年9月に佐々木雄太理事(当時)を議長としてまとめられた「JAUCBの中長期経営戦略」、それを受けて策定された「第Ⅱ期中期計画(2020-2025年)」を「工程表」に従って一つ一つ着実に実施していくことであると考えております。力不足ではありますが、私なりに本協会のさらなる発展のために努めていくつもりでおりますので、会員校の皆様にはよろしくご協力とご支援をお願い申し上げます。

》教養教育や専門教育と調和した実務教育を前提とする 資格認定事業を展開する当協会

さて、厚生労働省の発表(2022年10月28日)によりますと、2019年3月に卒業した新規大卒就職者の就職後3年以内の離職率は31.5%、短大等は41.9%という結果でした。この離職率の割合は長期にわたって続いており、また、就職後1年目の離職者が比較的に多いことも目につきます。この離職率の高さは、大学・短大(以下、大学)での教育内容と職業がうまくリンクしていないことも一因ではないかと、私は考えています。

11世紀末、イタリアのボローニャに法科大学が誕生しましたが、これは、教養諸学を学ぶ自由学芸学校を経て、専門学としての「実践を目指す理論」を学ぶものでした。ボローニャ大学が誕生して以来、大学は社会の変化を慎重に見極め、教養教育、専門教育、職業教育のバランスをとりながら、社会に有為な人材を育成し、今日まで存続してきました。

大学生の大半が大学で学んだ後、社会に出て働く以上は、大学には大学と社会をつなぐ職業教育があってしかるべきであり、本協会は、1973年の設立以来、つねに教養教育や専門教育と調和した実務教育を前提とする資格認定事業を展開し、特にビジネス実務に必要な知識や技能を身に付けた、大学と実社会をつなぐ職業人の育成を通じて社会に貢献してきました。

しかし、近年、社会が目まぐるしく変化して産業構造が大きく転換するする中で、大学は教育改革を迫られ、本協会が牽引する、大学と実社会をつなぐ実務教育の重要性はますます高まってきているように思います。

デジタル社会に通用する人材の育成に 「データサイエンス・AI実務士（仮称）」資格を新設

21世紀はデジタル社会と言われます。ビッグデータ (BD)、人工知能 (AI)、情報通信技術 (ICT) 等デジタル技術の活用が進み、あらゆる分野にデジタル化の波が押し寄せてきています。まさしく「デジタル化による変革」(DX＝デジタルトランスフォーメーション)時代の到来です。そのため、企業でも労働のデジタル化が急速に進み、職種によっては消滅するもの、創出されるものが出てきて、雇用の未来にも大きな変化が生まれる可能性があります。

私たちは今、「誰一人取り残されることなく、多様な幸せが実現できる社会」を目指すDXの真っ只中におり、そして、このDX時代においては、ビッグデータを人工知能 (AI) 等で分析して社会課題の解決に生かす上で、社会を変革するデータサイエンス (DS) の知識や技能は、大学生が社会に出て働く上で欠かせない基礎教養であるとも言われています。

デジタル社会に通用する人材の育成は、本協会にとって無関心ではいられない問題と言えます。そこで、2021年度と2022年度の交流会は、産学官からゲストをお迎えして、ご講演をいただき、参加者の皆様との意見交換を通してその重要性を共有できたように思います。これを機会に本協会として「データサイエンス・AI実務士（仮称）」資格の新設を目指していきたいと考えています。

資格は社会を映す鏡であると同時に、自らを映す鏡でもあります。

会員校の皆様、よろしくご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

協会の発足と使命

協会が発足した1973年のころ、まだ実務教育のことが話題にもならなかった当時、社会で活躍できる実務の素養と人間力を備えた能力開発に着目し、大学・短期大学における秘書教育課程を開発して、資格を授与することになりました。こうして本協会前身の全国短期大学秘書教育協会が始まりました。続いて、情報処理教育課程、ビジネス実務教育課程などを開発し、資格を授与してきました。

その後、協会の名称を全国大学実務教育協会と変更し、時代の要請や社会のニーズを捉えて、実務教育に関わる数多くの教育課程を開発し、資格を授与することとなりました。以来、初期のめざしてきた方向、つまり社会的に役立つ人間力を備えた実務教育の資格授与、実務教育研究の推進、大学・短期大学における実務教育の在り方を追求することを本協会の使命として堅持しています。

協会の事業方針

- 本協会は、実務教育・キャリア教育はどうあるべきかを問い続けその実践をリードし、もって大学・短期大学教育の質的転換に貢献します。
- 本協会は、対話を通して産学官民との連携を密にし、社会の変化に対応し、社会を創る人材育成に取組みます。
- 本協会は、実務教育・キャリア教育に関わる認定事業の質保証を図るために導入した評価制度を推進します。
- 本協会は、大学・短期大学における能動的学修をリードする教員及び実務家教員の教育力養成並びに教学マネジメント養成を推進します。

本協会が捉える「実務力」とは

どのような職業に就いて働く場合でも私たちは様々な実務を担って責任を果たしています。実務力とは、特定の知識・技能だけを意味するのではなく、自分の持てる力を活かして結果を出す人間力を含む総合的実践力が実務力の中核であると捉えています。

資格教育課程の質保証方法とは

一人ひとりの資格教育課程の修了者の質保証をはかるには、大学における単位認定結果 (GPA 等) に加えて、学修者自身による資格到達目標達成度評価結果 (学びの自己評価と継続課題等) の明確化が求められます。この質保証の考え方のもと、2023年度より本協会は、資格到達目標達成度評価制度を導入し、新たな評価方法 (協会独自のものまたは大学オリジナルなもの) を順次導入していきます。

協会のめざす実務教育とは

本協会の実務教育とは、「実社会を知り、自分を知る」を基軸におく人間力をベースに、実務を推進する総合的実践力を基本において育成をはかるものです。この幅広い実務実践力は失敗や成功を伴う体験学修を重ね、自ら獲得していくものであると捉えて、本協会の種々の資格教育課程を提案しています。

02 新資格を開設します！ 「データサイエンス・AI実務士(仮称)」

当協会では、「データサイエンス・AI実務士(仮称)」の初級及び中級の資格を2023年度に開設いたします。

政府が決定した「AI戦略 2019」によると、『日本国民にとっての新たな読み・書き・そろばんとして、日本の労働人口の25%に当たる1500万人に「数理・データサイエンス・AI」のリテラシーを身につけてもらう』とあり、さらに2021年から始まった文部科学省の認定制度「数理・データサイエンス・AI」では、大学生、短期大学生に、日常や仕事の場で使いこなす基礎的な素養を習得してもらうことを明確に目標として打ち出し、2021年から大学のプログラムを認定する制度が始まりました。

当協会では、文科省のAI人材育成戦略を見据えて、当協会の教育支援事業の柱である学生個人に授与する資格「データサイエンス・AI実務士(仮称)」を立ち上げることにいたしました。

文科省の認定制度の認定要件の一つに『学生に対し履修を促す取組の実施』とあり、会員校等代表者交流会で講演していただいた文科省の担当官にお伺いしたところ、当協会のデータサイエンス資格は、文科省の認定を受けるための要件の一つになりうるとのことでした。

当協会ではこの資格の到達目標基準を、大学文系及び短期大学の学生が企業活動に求められるデータサイエンス・AIの知識・スキルを修得できるリテラシーレベルに置いています。

文科省は、数理・データサイエンス教育を担う教員不足が課題であり、課題解決のための仕組みづくりを検討していますが、当協会では「データサイエンス・AI実務士(仮称)」資格の導入に際し、教員採用でお困りの場合には、IT企業の方を講師として紹介することを検討しています。

現在、開設に向けて、ワーキングチームが資格ガイドラインを開発しています。

ワーキングチームメンバー

四国大学経営情報学部メディア情報学科
山本 耕司 教授

京都女子大学データサイエンス研究所
林 邦好 准教授

相模女子大学学芸学部メディア情報学科
今井 さやか 教授

鹿児島女子短期大学情報学科長
近藤 朗 教授

株式会社アットサーブ
秋谷 和彦 代表取締役社長



03 2022 年度 教育者養成講座・研修事業

第9回「能動的学修の教員研修リーダー講座」

本講座は、コロナ禍により3年ぶりの開催となりました。今年度はアルカディア市ヶ谷において8月27日、28日、9月24日の全3日間に及ぶ講座を対面で開催し、札幌、新潟、栃木、茨城、千葉、愛知、大阪、兵庫、鳥取など全国各地から12名の先生方が参加されました。本講座は文科省が検討し2013年に閣議決定された「第二期教育振興基本計画」に基づいた教育の質的転換を推進するために当協会の研修事業として2014年度から始まり延べ170名を超える学修者を数えるに至っています。講師陣は当協会の代表理事・副会長である山梨大学理事・副学長の清水一彦教授をはじめ計3名の専門の講師が担当しました。

受講された先生方からは、「能動的学修、いわゆるアクティブラーニングでの授業の仕方は目から鱗が落ちるほどインパクトがありました。」「うちの大学の他の教員にも受講してもらいたい講座です。」「この講座の講師を大学に派遣してもらって他の先生方にも受講させたいですね。」などの感想を聞くことができました。



第8回「FD 教職員実践研究会」

FD教職員実践研究会は、2014年度の開始当初は「能動的学修の教員研修リーダー講座」の応用編として、その修了者だけに限定した研究会でしたが、2019年度から対象をFD、SDに関わる教職員に拡大しました。昨年度はコロナの影響もあり急遽ZOOMでの開催に変更となりましたが、6名の先生方にご参加いただきました。今年度は9月25日にアルカディア市ヶ谷にて対面で実施、10名の方々が会場での研修に参加されました。

今回の事例発表には、2014年度の「能動的学修の教員研修リーダー講座」に参加した後、学内でFD推進委員としてご活躍されている、豊橋創造大学伊藤圭一教授をお迎えし、「FDの実践と課題－豊橋創造大学の実践－」と題してご発表いただきました。伊藤教授は、リーダー講座で学んだアクティブラーニングの学修法を学内や他大学及び短大協会などでFD研修として講演を続け、その後2021年度にベストティーチャー賞を受賞されたことをきっかけに、教員相互で授業を見学することこそが最も効果的なFD研修であると話を結ばれました。



第2回「教学マネジメント実践講座」

主に大学運営に携わる皆さまを対象とした本講座は、当協会初のオンライン限定の講座です。昨年度の第1回目より、リモート研修のプロフェッショナルであるカングロ㈱に運営の一部を委託し、ZOOMで開催しました。ワークショップ、グループ討議など対面と変わらない研修成果があり参加者の皆さまには大きな好評を得ることができました。今年度も10月29日に第1日目をリモートで開催し、受講者は学長、学部長、教務部長、学科長、教務部事務スタッフなど大学の教学運営に責任ある9名の方々が全国各地から参加されました。

教学マネジメントは2018年の中教審答申を受けて策定された「教学マネジメント指針」に基づく大学教育の質向上を目的としたもので、本講座の第1日目は「学習成果・教育成果の可視化に向けて」をテーマに、午前中のプログラムは内部質保証システムの実践事例の紹介、午後は「教学マネジメント改革の推進」をテーマにしたワークショップを2グループに分けて、活発な討議と発表が行われました。第2日目は、「大学制度の正しい理解と経営・教学改革」をテーマに1月28日に開催しました。



第4回「大学実務家教員養成講座」

産業界等で実績を残してきた専門家が実務家教員として大学に迎えられる方が増えている中で、本講座は実務家教員あるいは教員志望の実務家の方々に大学教員の役割、研究活動、教育力、授業の持ち方、シラバス作成など、大学教員としての実践力を修得していただく講座として多大な評価を得ています。

今年度は2年ぶりに対面で開催し、延べ10名の方が受講されました。受講者には企業の経営者の方も複数名参加され、活発なグループ討議がなされました。本講座は、A領域とB領域に分けて計4日間行われますが、A領域では「大学とは何か」「大学教員の役割と機能」をテーマに、高等教育政策と各大学の課題、大学の組織力強化、また研究活動と成果のまとめ方などを学修し、B領域では「大学の授業とは」「大学の人材育成と多様化する学生」をテーマにして授業デザインとシラバス作成、学修支援者との連携などを学修しました。



04 } 協会からのお知らせ

1 2021 年度資格認定証授与数

2021年度の資格認定証授与数は、8,642件で、大学2,784件、短期大学5,858件、資格認定授与数の累計総数は、655,534件となりました。

2 2022 年度新規入会校

2022年度からの新規入会校は次の5校です。

No.	大学名	所在地	学長	申請資格
1	旭川大学短期大学部	北海道旭川市	藤原 潤一	こども音楽療育士
2	滋賀文教短期大学	滋賀県長浜市	松本 秀章	実践キャリア実務士
3	大阪信愛学院大学	大阪府大阪市	岩澤 和子	子ども音楽療育士
4	神戸親和女子大学	兵庫県神戸市	三井 知代	上級情報処理士、プレゼンテーション実務士
5	関西国際大学	兵庫県三木市	濱名 篤	上級情報処理士、ウェブデザイン実務士

3 2023 年度教員研修・養成講座について

① 第10回 能動的学修の教員養成リーダー講座 〈全3回対面開催〉

8月26日(土)
8月27日(日)
9月23日(土・祝)

定員 30名(先着順)
参加費(税込)
12万円 - 3日間-

② 第9回 FD教職員実践研究会 〈対面開催〉

9月24日(日)

定員 20名(先着順)
参加費(税込) 4万円

③ 第5回 大学実務家教員養成講座 〈全4回対面開催〉

(A領域) (B領域)
10月21日(土) 12月2日(土)
10月22日(日) 12月3日(日)

定員 20名(先着順)
参加費(税込) A B講座 18万円 -4日間-
A 講座のみ 10万円 -2日間-
B 講座のみ 10万円 -2日間-

④ 第3回 教学マネジメント実践講座 〈全2回オンライン開催〉

8月4日(金)
9月1日(金)

定員 30名(先着順)
参加費(税込)
8万円 -2日間-
5万円 -1日のみ-

4 会員校等代表者交流会 〈対面セミナー・オンラインも可〉

10月(日程調整中)

05

2022年度会員校等代表者交流会

テーマ「今、大学に求められるDX、数理・データサイエンス・AI人材育成とは」

2022年11月11日午前10時から、アルカディア市ヶ谷の会場に19名、リモートで87名、合計106名の大学・短期大学の方々が参集し、令和4年度会員校代表者交流会を開催しました。今年度のテーマを「今、大学に求められるDX、数理・データサイエンス・AI人材育成とは」として産官学各界からご講演いただきました。

「高等教育機関における数理・データサイエンス・AI教育とデジタル人材の育成」 文部科学省高等教育局専門教育課情報教育推進係 高橋 佳奈 係長

現在「IMD世界デジタル競争力ランキング2022」で、日本は「高等教育段階における学生：教員の比率」で1位、「教育・研究開発におけるロボット導入」でも4位と高い水準をキープしている一方で、「デジタル・技術スキル」は62位、「ビッグデータのデータ分析の活用」では63位といずれも低順位となっており、2030年には54.5万人のIT人材不足になる。デジタル人材不足解消に向けて教育体制を整える必要があるが、そのための人材不足が現在の課題であると訴えられました。



文部科学省では5年間で230万人のデジタル推進人材の育成目標を掲げ、産官学一丸で育成に取り組む「デジタル人材育成推進協議会」を立ち上げたと述べられました。

内閣府が発表した「AI戦略2019」では、デジタル社会のあらゆる分野で活躍できるように「全ての大学・高専生へのリテラシー教育」「一部高校生と大学・高専生の半数への応用基礎教育」「先鋭的人材育成のエキスパート教育」に分けて取り組みを実行し、トップクラス育成としては年間100人程度を見込む人材育成目標を掲げていると話されました。また「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」では、私立・国公立大学を問わず、コンソーシアム活動などを通じた普及展開に取り組んでいると現在の施策と展望を語られました。

「デジタル時代に活躍する人材を育てるために」 CDO Club Japan 加茂 純 代表

現在の日本が置かれた状況や今後の人材について「危機感を感じている」とした上で、昨今円安や環境問題などとりわけ変化が激しいが、乗り切るためにはデジタル改革しか道が残されていない状況だと産業界からの見解を述べられました。

現在、各社が産業改革や社内改革に取り組んでいるが、いずれも問題になっているのが「人材がいない」ことだと指摘。人材育成に関しては各社が入社後にデジタル教育を施しているが、育つまでに10年にかかることを考えると、大学・高専と連携し、社会に出る前段階から実施することが産業界ならびに日本の将来にとって最善であると強調されました。



加茂代表は、先んじて行われた高橋教育推進係長の講演に触れ、デジタルリテラシーを最低限理解した上で入社することで、あらゆる領域で活躍できる人材になれると見解を述べられました。また、デジタルエキスパート人材の場合は、新サービスや社内の新システム作成の業務にあたれるなど、一層の活躍が見込めると語られました。

デジタル人材は、デジタルについて「理解」のあるリテラシー人材、「活用」が叶うエキスパート人材、その先に「創造」が可能なトップクラス人材の3つがあると言えるが、日本の現時点では、まずはデジタル・データへのアレルギー感覚がない人材を育てる「理解」の段階にあると指摘されました。

「国際学力調査 PISA」によると、日本はOECD加盟国中、15歳の数学的リテラシーは1位、科学的リテラシーは2位と非常に高い。ただし、この15歳以降に関心を失くさせてしまっているのは反省すべき点だとし、若者の高い数学的・科学的リテラシーを生かすための社会の受け皿が存在していないと指摘されました。そのためにも「大学の勉強内容は問わず、会社に入って再教育すればいい」という世の中を変えていくべきだとし、今後、企業の採用ではデジタルリテラシーの高い人材が優先的に採用される仕組みに変えていくことで、学生時代の過ごし方、考え方を変えられるのではと話されました。CDO Clubではデジタル人材育成及びデジタル分野の研究開発として、東京大学・北海道大学と連携しているという。デジタル分野は5年経つと環境が大きく変わるもの。産業構造や人材のあり方が全く違う分野であるため、一度学べばいいものではなく、社会に出てからも10年ごとに大学に戻って勉強し直すような時代が来る可能性も指摘されました。そのためにも産業界と大学が手を取りあえればと未来の展望を語られました。

「データサイエンス学部新設」についての事例発表 京都女子大学 竹安 栄子 学長

明治時代、女性のための高等教育機関を設立したいという思いから3名の女性の力により創基された京都女子大学は、「ジェンダー平等」「機会平等」の考えが根付いた大学であると冒頭で述べられました。京都女子大学の教育理念は「ジェンダー平等の実現に貢献する女性を養成すること。その理念に立ち返った際に必要性を感じ、2023年度よりデータサイエンス学部を新設することになったと語られました。



本校のデータサイエンス学部の教育の方針は、社会の課題を発見し解決に繋げるための「社会科学」、データを正しく取り扱い運用する「情報学」、データを分析し価値を見出す「統計学」の3領域の統合にあり、まさに文理融合の学部であると語られ、ジェンダー平等に貢献できる教養を身につけ、日本の新しい分野のフロンティアになる女性を育成するためには、「なぜ理数を学ぶ必要があるのかを大学入学前の教育課程で知っておくこと」「大学での教育だけでなく、女子学生の進路を見守る保護者と高校の先生を教育していくこと」「『女子といえば文系』といった偏った社会認識の変革を行うこと」に取り組まなければならないことを痛感していると述べられました。

「数理・データサイエンス・AI」教育の科目を必修とし、コンソーシアムへの加盟も果たしている本校では、京都府・京都市や京都の企業、近隣大学との連携も進めていて、産官学の連携を行いつつ、日本の教育界におけるジェンダー構造への挑戦ができればと締めくくられました。



06 会員校紹介 鹿児島女子短期大学

理事長・学長 志賀 啓一 先生



時代に即応した堅実にして有為な人間の育成のもと地域のニーズに応えられる人材を育てています。データサイエンスは、短大生に必要な学修です。

—鹿女短の学生は、地元就職する方が多いのですか？

95%くらいの学生は、地元就職します。

文科省が推進する、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の制度が以前あり、地元の就職率をあげましょうという動きがありました。鹿児島県の短期大学の就職率は、全国平均を例年上回っています。

—教養学科の学生は、多方面に就職しておられますね。

自分は、何に向いているのかまだ分からない、方向性が

定まっていない学生にビジネス実務関係、教養、時代に即したカリキュラム編成で色々な道を提示しています。

—当協会で企画している新しい資格、「データサイエンス・AI実務士(仮称)」についてどのように思われますか？

来年度のカリキュラム編成にデータサイエンスのプログラムを取り入れる予定です。データサイエンスを学んでいれば、働き方も多様性があると思います。データを活用しながら、ビジネスに活躍する技術はデジタル・トランス・フォーメーション時代に必要であると考えています。

教務課長 今村 哲郎 さん

KAJYOTAN！縁の下力持ち

—新入生獲得のための広報はどうされていますか？

オープンキャンパスで、鹿女短に入学したらこんな資格が取得できます等の案内をしています。

—どのような理由で入学を決める学生が多いですか？

半数以上の学生は資格を取得できるからと回答しています。

—人気の資格はなんですか？

ビジネス実務士、情報処理士、ウェブデザイン実務士などが多いですね。

入学理由アンケートTOP3

希望の免許・資格を取得できるから …	55 票
勉強したい学科があるから ……………	41 票
入学してから将来の進路を 考えたいから ……………	29 票



1 年生 日野 まいあ さん

—どのような資格を取得したいと考えていますか？

ビジネス実務士、上級ビジネス実務士、秘書士、上級秘書士、情報処理士、ウェブデザイン実務

士の資格を取得したいと考えて頑張っています。

—日野さんも資格を取得できることが魅力で入学なさったのですか？

社会に出て役に立つ人間になりたいと

考えており、情報処理士、ビジネス実務士などの資格が取得できる教養学科に魅力を感じました。

—資格取得のために必要な単位数はどのくらいになりますか？

今のところ、希望するすべての資格を取得するためには卒業要件に必要な単位に加えて72単位は必要になりそうです。授業詰め詰めで頑張っていますが、鹿女短の授業は面白いので楽しく受講しています！



2 年生 石塚 由依 さん

—どうして、資格を取得しようと思えましたか？

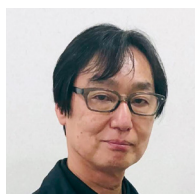
就職活動の時に自分が頑張った証明ができると考えました。

またもしどのような状況になった時も

資格を取得していれば活用できるので興味を持った資格は取得しようと思いました。

—検定試験と協会の資格の違いは何ですか？

秘書検定準1級を取得しているのですが、独学でテキストの内容を覚えるより、実際の授業で先生の体験談などを織り交ぜてしていただいた話などの方が理解が深まり、知識の定着につながると感じました。



教養学科 学科長 近藤 朗 先生

情報デザイン、サービスサイエンスが専門で情報系の科目を教えていらっしゃる人間中心設計専門家

—協会の資格についてどのように思われますか？ 昨今の企業では、検定試験などをあまり重要視していないような気がします。協会の資格については、資格そのものについてというよりは、その資格を取得するにあたってどのような学修をしたかを企業に伝えやすくなると思います。

例えば、パソコンの勉強をしてきたと説明をするより、情報処理士を取得するにあたってこのような授業を受けて、学修してきましたと生徒がエビデンスを示しやすくなると思います。

—当協会の新資格「データサイエンス・AI実務士（仮称）」についてどう思われますか？ 本校では、データサイエンス概論、人工知能(AI)の仕組みについて学んでいけるプログラムを来年度から開設する予定ですが、オフィシャルな資格として協会から資格の認定を受けることは、価値があることだと思います。

必要な資格だと思いますが、学生、産業界にその認知度と重要性がまだ浸透していないように感じています。

教養学科 石田 もとな 先生

生徒からの信頼も厚くグランドスタッフ時代の知識を活かした授業を行っている

—地元の企業と密接に連携しておられますね 商工会議所を通じて事業所の見学や、地元の方々と短大が連携することによって情報を収集しやすくなったり、学生の信頼度を上げることにもなり、短大の役割を果たしていると考えます。

—協会の資格をどう思われますか？ 短期的に取得できる資格に比べて、しっかり時間をかけて、時代に即応した授業を受講して修得できる協会資格に価値を感じます。



卒業生 湯田 美穂 さん

卒業してから実感しました！

—実際に資格取得のため受講してどうでしたか？ 資格取得のためにきちんと履修するよう心掛けました。また、就職してから履修していた科目が実務にとっても役に立っていると実感しました。

—資格を取ることが有効だと考えますか？ 資格を取ることがまず目標になるといいますし、自分が積み重ねて学んだことの証明にもなります。資格を取得したことを活かす場面が必ずあると考えます。



学生支援課長

古田 圭 さん

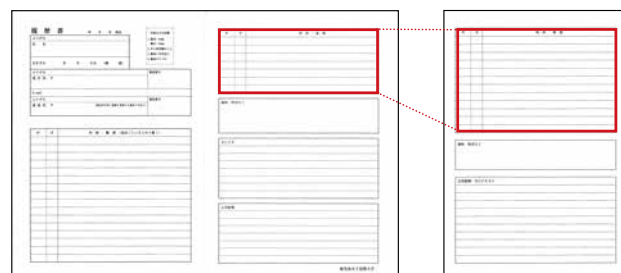
学生支援課キャリアセンター主任

中間 茜 さん

頼れる学生支援課

—協会の資格を企業にアピールする方法などを学生に指導していますか？ 鹿女短で用意している履歴書のタイプは2パターンあるのですが、違いは、資格を書く欄の大きさです。資格をたくさん取得している学生のために、資格を書く欄を大きくしました。

たくさん資格を取得している学生の中には、書ききれずに別紙に記載して履歴書を作成する学生もいます！



鹿児島女子短期大学の魅力が伝わったでしょうか。学生たちの資格取得への熱意、先生方の工夫を凝らした授業の内容、教務課、学生支援課の皆さんのサポート体制、とても素晴らしかったです。

素晴らしい会員校、これからも紹介していきたいと思います。

我が校も取材してほしい！と思う会員校の皆様のご一報をお待ちしています。

[取材担当 風戸]

07 } 優秀教員寄稿文



鹿児島女子短期大学 教養学科
講師

石田 もとな

知識と能力をつなぐ「経験」を提供
できる授業運営

この度は、実務教育優秀教員として表彰して頂き、誠にありがとうございます。型破りな授業運営を温かく見守り、サポートしてくださる本学教職員全員への表彰であると受け止め、心より感謝いたしております。

教員になる前は、航空会社において客室乗務員と地上職員として、10年以上仕事をして参りました。その中で痛感したのは、知っていることやわかっていることと出来

ることの間には隔たりがあるということです。知っているだけでは、知識のままですが、実際にやってみることを通して身につけたことは、能力になります。

本学の教養学科は、一般企業や自治体などに就職を希望する学生が多いため、できる限り実践経験を提供する授業運営を心掛けております。例えば、ビジネスワークの中では、役割分担をし、実際にフェアトレードショップなどの運営を準備から運営終了後の関係者へのお礼状作成までを行うことで、教科書で学んだ知識が能力へと変化していくことを経験し、学生自身が成長を感じられる機会となっています。思わぬ失敗もありますが、ミスやそのフォローも含めて経験であると考え、今後も学生の知識を能力につなげられる授業運営を心掛けて参ります。



大阪河崎リハビリテーション大学
リハビリテーション学部作業療法学専攻
助教

田崎 史江

園芸療法士…臨床現場で園芸の
おもしろさを伝えられる人を目指して

この度は、実務教育優秀教員として表彰していただき、誠にありがとうございます。

私にとってこの受賞はこれまでの園芸療法士として25年間、作業療法士として11年間、福祉や臨床、教育の現場で勤務してきた年月を振り返り、これからの自分の役割を改めて考える機会となりました。

私は本学で園芸療法関連の授業「園芸療法」「園芸論」「ガーデニング」「園芸療法実習」を担当しています。園芸療法では理論を学び、花や野菜などの植物を育てる体験、植物の利活用、大学の関連施設で園芸療法実習など実践重視の授業をしています。そして、将来的に本学の卒業生が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士として、リハビリテーションの場で園芸の良さを活かせる人材になることを目指しています。

農園芸活動は1900年代より日本の精神病学の創立者で精神科医の呉 秀三先生、加藤普佐次郎先生が実践された作業療法の中でおこなわれ、精神科疾患に対しての効果が認められています。また、本学の創設者で先代理事長の河崎 茂先生も精神科医でしたが、昭和30年代に御自宅の田畑やミカン畑を作業療法の場として、入院患者と一緒に農園芸活動をされていたそうです。本学開設時には授業科目に「園芸療法」を入れ、「本学が園芸療法のフィールドとなることを願っている」と手記に書かれています。

私は自身について、微力ながらも、医療現場において農園芸利用の歴史を未来へと繋げていく、とても重要な役割を担わせていただいていると信じています。そして、この度の受賞を「これからも努力を惜しまず、なお一層頑張れ」という先輩方からの激励ととらえ、今後も園芸療法の理解と普及に邁進して参りたいと思っています。

いつも授業にご協力いただいている本学教職員の皆様、本審査に関わられた皆様に心より感謝申し上げます。



和歌山信愛女子短期大学
生活文化学科 生活文化専攻
准教授

中西 淳平

実務教育優秀教員として表彰されて

この度は実務教育優秀教員として表彰していただき、心より感謝申し上げます。この賞は本学教職員の方々のご協力なくしては受賞することができなかったと考えております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

和歌山信愛女子短期大学は、75年以上の歴史をもち、地域に貢献できる人材育成を長く続けてきました。私の所属する生活文化学科生活文化専攻は、社会的にニーズが高い資格やスキルの取得をし、ビジネスの現場で即戦力として活躍できる人材育成を目指しております。また、ビジネスマナーやコミュニケーションスキル、文化に関する知識など生活に密着したことも学び、社会人として必要な感性、想像力、周

囲を思いやる力を養い、地域社会から信頼される人材育成を目指しております。

私の担当する「情報処理演習」や「コンピュータ科学演習」等では、コンピュータを使った授業を実施しており、Word、Excel、PowerPointの基本操作から応用的な内容を学修します。受講する学生の中にはコンピュータ操作の初心者が少ない存在し、その学生がコンピュータの基本操作を修得することが授業の第一の目的なので、一つずつ確実に、机間巡視をしつつ、学生の理解度を何度も確認しながら授業を進めています。一方で、応用的な内容を含んだ課題を用意しておくことで、比較的習熟度の高い学生にも合わせています。しかし、適切な難易度の課題を準備することがなかなか難しく、何度も何度も見直しをして、調整をしても、自分の納得のいくところには到達できていない、というのが現状です。

今後も地域社会に貢献できる人材育成を進めることで、貴協会の益々の発展に尽力し、実務教育の充実に邁進していく所存です。



幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
副園長

中武 亮子

「こども音楽療育士」育成の中で培った音や音楽の力を発揮する場
～子どもが五感を使いながら音や音楽で遊び、育つところで～

昨年度まで私は、全国大学実務教育協会認定の「こども音楽療育士」取得を希望する保育科の学生と、音楽療育と保育の音楽表現の授業の中で、音や音楽を聞きながら動くこと、音や声でコミュニケーションすること、音や音楽による描画活動など、五感を使った表現活動を行ってきました。そして今年度からは短大附属の認定こども園に籍を置き、0

歳から5歳の子どもたちと、人格形成の基盤を培う大切な時期を共に過ごしています。現行の『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』には、「乳児期の園児の保育に関する3つの視点」として、「健やかに伸び伸びと育つ」、「身近な人と気持ちが通じ合う」、「身近なものに関わり感性が育つ」ことが書かれています。これらは0歳からの子どもの主体性を育むことに関係しており、乳児期の子どもたちにとって、五感を使った音や音楽による遊びは、この3つを満たす可能性を持っています。私は、学生たちと音や音楽の中で共に培ってきた感覚を大切に、今度は子どもたちの根っこが丈夫でしなやかに育つことに力を注ぎたいと思っています。そのような意味から、今回の受賞は初めての「保育の現場」に飛び込む力をいただきました。心から感謝いたします。



四国大学経営情報学部
メディア情報学科
助教

田中 有里

実践的学びによる学生の成長を目指して

この度は、実務教育優秀教員として表彰していただき、誠にありがとうございます。私が所属するメディア情報学科では、メディアに応じた効果的なコンテンツ制作技術や配信方法を修得し、地域で活躍できる人材育成を目指した教育に取り組んでいます。私はその中でも主に映像制作に関わる授業を担当しており、撮影や編集の技術指導やスタジオでの番組制作、学外をフィールドとしたプロジェクト演習などを行なっています。特にプロジェクト演習による映像制作では、

学生が地域に赴き、現地を実際に視察することで地域の課題に自ら「気づき」、映像によってこれらの諸課題を解決に導くことを目指しています。学生たちはその過程で撮影・編集などの技術力向上はもちろん、グループ活動や地域の人々との関わりの中で、コミュニケーション力や企画力、責任感などが培われ、大きく成長していきます。そして、さらにその取組みを通して、地域の人々から「ありがとう」と感謝され、貢献できたという実感は自信となってその後の学習活動が意欲的になります。このような実践的学び、すなわち実務教育による学生の成長に手応えを感じているところです。

学生にとって良い教育とは何か、常に自問自答を繰り返す毎日ですが、この度の表彰を励みに更に努力していきたいと考えております。本表彰にあたり、ご推薦いただきました松重学長ならびに審査に携わられた皆様に心より厚く御礼申し上げます。

08 新役員・評議員のご紹介



理事 菅原 陽心



理事 田邊 純一



監事 加藤 博



評議員 有馬 義秀

役員

役 職	氏 名	現 職
代表理事・会長	森 征一	慶応義塾大学 名誉教授
代表理事・副会長	清水 一彦	国立大学法人山梨大学 理事・副学長
理 事	安藤 正人	愛知学泉短期大学 学長
理 事	上野 八郎	学校法人札幌国際大学 理事長
理 事	大宮 登	高崎経済大学 名誉教授
理 事	川嶋太津夫	国立大学法人大阪大学 スチューデント・ライフサイクルサポートセンター センター長
理 事	菅原 陽心	新潟青陵大学短期大学部 学長
理 事	高橋 弘行	一般社団法人東京経営者協会 常務理事兼事務局長
理 事	竹安 栄子	京都女子大学 学長
理 事	富田 敬子	常磐大学・常磐短期大学 学長
理 事	難波 雅紀	学校法人実践女子学園 副理事長、実践女子大学・同短期大学 学長
理 事	西内みなみ	桜の聖母短期大学 学長
理 事	福井 洋子	学校法人大手前学園 副理事長、大手前短期大学 学長
理 事	村崎 正人	学校法人村崎学園 理事長
理 事	矢口 洋生	仙台白百合女子大学 学長
理 事	山下 恵子	学校法人宮崎学園 理事長、宮崎国際大学 副学長
理 事	田邊 純一	一般財団法人全国大学実務教育協会 事務局長
監 事	加藤 博	金城大学短期大学部 学長
監 事	佐々木雄太	学校法人市邨学園 監事

評議員

氏 名	現 職
有馬 義秀	鹿児島純心女子短期大学 副学長
石井 茂	学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長
尾崎 春樹	学校法人目白学園 理事長
小田 寛人	常葉大学短期大学部 副学長
越原もゆる	学校法人越原学園 理事長 名古屋女子大学・同短期大学部 学長
風間 誠史	学校法人相模女子大学 理事長
坂田 甲一	トッパン・フォームズ株式会社 取締役相談役
坂本真佐哉	神戸松蔭女子学院大学 副学長
志賀 啓一	学校法人志学館学園 理事長 鹿児島女子短期大学 学長
高見 茂	京都光華女子大学・同短期大学部 学長
谷本 和子	関西外国語大学短期大学部 学長
西井 泰彦	学校法人就実学園 理事長
松重 和美	四国大学・同短期大学部 学長
宮田 伸朗	富山短期大学 学長
吉田 幸滋	学校法人精華学園 理事長

名誉顧問・顧問

役 職	氏 名	現 職
名誉顧問	森脇 道子	前 一般財団法人全国大学実務教育協会 代表理事・会長
顧 問	一郷 正道	前 京都光華女子大学・同短期大学部 学長
顧 問	合田 隆史	前 尚絅学院大学 学長
顧 問	城島栄一郎	前 実践女子大学 学長
顧 問	谷本 榮子	学校法人関西外国語大学 理事長
顧 問	納谷 廣美	公益財団法人大学基準協会 特別顧問
顧 問	松畑 熙一	前 中国学園大学・中国短期大学 学長
顧 問	平山久美子	鹿児島純心女子短期大学 学長
顧 問	室井 廣一	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 学長

〔 廣 告 〕



永和監査法人

EIWA AUDIT CORPORATION

私たちは、法人が抱えるリスクや問題点を把握し、理解し、的確な監査手続を提案、選択しています。メンバーで話し合いを行い、業務を進め、クライアントに対して持続可能な成長戦略を掲げています。公認会計士に興味のある、または公認会計士の勉強をしている学生の募集をしています。

法人名	永和監査法人
設 立	2005 年 4 月
住 所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 5-1 兜町第 1 平和ビル 4 階
連絡先	Tel 03-6661-2110
エントリー フォーム	https://eiwa-audit.com/entry-form/

うちの子
アート

オリジナルグッズ工房

P&i

株式会社ピー・アンド・アイ

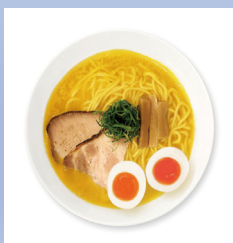
〒222-0001
神奈川県横浜市港北区樽町4丁目14番25号
TEL 045-834-9277 FAX 045-834-9278
www.p-a-i.co.jp

SAMPLE PEX



コクがあるのにヘルシー。
満足感あり！

- ・鶏ポタラーメンTHANKは濃厚な鶏出汁に10種類の野菜をポタージュにしてあわせた栄養満点のラーメンです。
- ・トリポタラーメンSUNDAYは鶏ポタのスープにカツオ出汁を加えほっこりする味わい！
- ・大門（浜松町）とお茶の水で3店舗ございます。



ラーメンSUNDAY



ラーメンTHANK



ホームページ



RADIX

おかげさまでラディックス株式会社は、
会社設立30周年を迎えることができました。

お客様のオフィスを トータルサポート

ラディックスは創業以来マルチベンダという立場で、お客様のオフィスの情報化を支援する企業です。コンサルティングから設計・開発・導入・サポートまでワンストップで、サービスをご提供します。お客様一人おひとりに合った働きやすい職場になるよう、様々な部門のプロフェッショナルたちが、お手伝いさせていただきます！オフィスでの「お困りごと」ならなんでもお気軽にご相談ください！

2024 マイナビ・リクナビにて
新卒採用 エントリー受付中！
Recruit 成長できる環境がここにある！



採用サイトはこちら

ラディックス株式会社
<https://www.radix.ad.jp>

お問合せはこちら
TEL: 03-5210-7731
担当：竹野 雄也 まで



一般財団法人 全国大学実務教育協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-2-12 第三東郷パークビル二階

TEL:03-5226-7288 FAX:03-3263-8633

E-mail: jaucb@jaucb.gr.jp URL: <https://www.jaucb.gr.jp>

